2月20日は『歌舞伎の日』！ 日本が誇る伝統芸能に触れてみませんか？

「歌舞伎の日」は、出雲阿国(いずものおくに)という女性演者が、1607年の2月20日、徳川家康に招待されて江戸城で「かぶき踊り」を披露したことにちなんで制定された記念日です。

「かぶき」という言葉は、「傾く(かたむく)」の古語にあたる「傾く(かぶく)」から来ており、「常軌を逸した奇異な行動やファッション」を意味します。そして、今でいう不良グループのことは「かぶき者」と呼ばれていました。いつの時代も、はみ出す人たちには独自のカリスマ性があるもの。「かぶき踊り」は「かぶき者」をモチーフにした踊りを出雲阿国が男装して演じたもので、一大ブームを巻き起こしました。

「かぶき踊り」は形を変えながら広まっていき、遊女によって演じられる「遊女歌舞伎」が流行ります。しかし、風紀を乱すとして1629年に幕府から禁じられてしまいます。次に、成人前の少年が演じる「若衆歌舞伎」が登場しますが、これもやはり風紀的な問題から、幕府に禁止されます。続いて始まったのが、成人男性だけで演じるというルールの「野郎歌舞伎」で、これが現在の歌舞伎の源流となります。

我が三重県では、伊勢神宮の参拝客を楽しませるために始まった「伊勢歌舞伎」が評判で、江戸・京都・大坂に次いで歌舞伎興行が盛んに行われていました。伊勢市の伊勢古市参宮街道資料館には、伊勢歌舞伎に関する資料が展示されています。

歌舞伎独特の白塗り、隈取の化粧など、徐々に洗練されて現代の歌舞伎に近づいていくにつれ、歌舞伎の地位も高まっていくのですが、贅沢を嫌う「天保の改革」(1841年～1843年)をきっかけに、力を失っていきます。歌舞伎が復活したのは、明治時代に入ってからです。

庶民の楽しみであった歌舞伎を、世界に誇れる日本文化に、という動きが高まり、芝居と踊り、音楽が三位一体となった芸術作品として、国内外から愛されています。また現在は、子役であれば男女問わず舞台へ出演できるようになりました。

歌舞伎は敷居が高い…と思われがちですが、一演目のみを手頃な価格で楽しめる「一幕見チケット」なども販売されています。全国各地に歌舞伎の公演会場がありますので、足を運んでみてはいかがでしょうか？

2月12日には、三重県文化会館にて人間国宝・坂東玉三郎さんの「～お話と素踊り～」のイベントが開催されますよ。

今年の恵方巻きは“正確に”恵方を向いて食べよう！

2月3日は節分です。節分といえばまず「豆まき」、そして「恵方巻き」ですね。その年の恵方に向かって、巻き寿司を「黙って」「切らずにそのまま」食べるという恵方巻き。その起源には諸説あって定かではありませんが、いつの間にか節分のイベントとしてすっかり定着しました。巻き寿司には「福を巻き込む」という意味があり、七福神にあやかって7種類の具が入った太巻きが良いとのこと。食べる途中で喋ると、せっかく巻き込んだ福が逃げてしまうので無言で食べます。切らずに食べるのは「福や縁が切れないように」との願いがこめられています。願い事を思い浮かべながら食べるといいそうです。

恵方とは、その年の福を司る歳徳神(としとくじん)がいらっしゃる方角のことで、その恵方に向かって事を行うと、何事も吉とされました。

今年の恵方は、「東北東やや東」です。…が、これって正確にどっちなのかわかりますか？

そこで、今年の節分は恵方が正確にわかる便利アプリを使ってみませんか？ その名も『2024年 恵方巻きコンパス』といいます。

アプリを開いたら水平にして方向を変えてみてください。ぴったり恵方に合えば、めでたい鯛のイラストが教えてくれますよ。

ダウンロードはこちらからどうぞ。 iOS ⇒ Android ⇒

楽しい節分をお過ごしくださいね！

★チラシ・フライヤー・会社案内・名刺など
デザイン制作・印刷 お任せ下さい!!
★ホームページ制作お任せ下さい!!
オリジナルデザインで更新しやすいホームページを！
今あるホームページの編集作業もお任せ!!
◎パソコン本体・周辺機器のご購入やパソコントラブル
ご相談下さい！
◎パソコン教室 無料体験実施中！
マデコムのFacebookへの いいね！お待ちしております

株式会社マデコム
〒510-8122 三重県三重郡川越町豊田659-1
TEL ： 059-366-0888 FAX ： 059-366-0877
E-Mail ： office@madecom.co.jp
URL ： https://www.madecom.co.jp
発行：2024年2月1日
編集・作成：早川尚孝

MADECOM